

1 日時：令和元年 11 月 7 日（木） 13:00～15:00

2 場所：TKP 新橋カンファレンスセンター カンファレンスルーム 16B

3 出席者

大聖委員長、今井委員、大西委員（代理：吉田氏）小杉委員、坂本委員、竹中委員、田中委員、北條委員、本多委員（代理：高橋氏）、矢野委員

4 議事

（1） 大型車の長期的な低炭素化に向けた勉強会設置要領（案）について

（資料 1） 大型車の長期的な低炭素化に向けた勉強会設置要領（案）

事務局より、資料 1 に沿って説明され異議なく了承された。

（2） 大型車の地球温暖化対策に関する現状について

（資料 2-1） 大型車の地球温暖化対策に関する現状について（国内）

（資料 2-2） 大型車の地球温暖化対策に関する現状について（海外）

主な意見は、以下のとおり。

○2050 年までには温室効果ガスを 80%削減しなければならず、車両単体の燃費改善だけではとても難しい。ユーザー側の効率化も視野に入れて、どのような課題があるのかを整理してはどうか。

○既存のディーゼル車を EV や FCV に置き換えるだけでなく、ディーゼルトラックや CNG トラックもなるべく使えるような方策が必要ではないか。

（3） 勉強会における検討内容について

（資料 3） 勉強会における検討内容について

主な意見は、以下のとおり。

○次世代大型車の普及に向けて、メーカー、ユーザー、行政それぞれが実施できることについて、ヒアリングを通じて課題等を整理し、まとめていただければと思う。

（4） ヒアリングについて

（資料 4） ヒアリング（案）について

主な意見は、以下のとおり。

○燃料電池バスや電気バスなど先進的な取り組みがなされた事業者にヒアリングを実施してほしい。また、運送事業者だけでなく、自治体も含めるべきではないか。

○車両の本格的な運用はこれからなので、今の時点で聞いても実態としてはまだまだ把握できないかもしれない。

（5） 今後のスケジュールについて

（資料 5） 今後のスケジュールについて

以上